令和7年度 年末調整のポイント

令和7年度税制改正に対応しました。

参考資料:《国税庁 HP》令和7年度税制改正による所得税の基礎控除の見直し等について

https://www.nta.go.jp/users/gensen/2025kiso/index.htm

【ポイント1】

[個人マスタ]の[扶養]をクリックした「扶養マスタ」画面で、扶養マスタの登録を見直します。 生年月日、所得見積額、続柄により、控除対象者の条件を判定します。被扶養者一覧へ登録した控 除対象者の「生年月日」「所得見積額」「続柄」「被扶養者となった日(加入承認日)」を必ず登録して ください。(所得見積額が空欄の場合は〇円になります)

配偶者も「所得見積額」により、配偶者特別控除など、控除額の処理に反映します。

令和7年税制度改正による「特定親族特別控除」適用対象者は令和7年中は「特定扶養親族」にチェックします。生年月日、続柄、所得見積額により、年末調整時(随時処理)には、「特定親族特別控除」対象者として計算を行います。

※「特定親族」の項目追加は令和8年以降のバージョンアップでの対応予定となります。(令和8年以降の給与計算での対応となるため)

「一般扶養」「特定扶養」「老人扶養」のいずれかにチェックがついていれば、生年月日、続柄、所得 見積額により控除金額を判定します。チェックがないと、扶養親族として処理されないため、必ずチェックを付与してください。

その他、本人区分、択一のチェックなどを見直します。



データ取込を行う場合は。「環境設定」-「データコンバータの起動」-「データ取込」から取込を行うことが出来ます。(@ろうむは「メンテナンス」-「コンバータ起動」-「データ取込」)

「汎用データ取込」を利用する場合は、「取込項目」-「扶養者」

「指定フォーマット取込」を利用する場合は、「個人」-「被扶養者マスタ」から取込みます。

※操作については、リンク集のオンラインマニュアル「第2章データコンバーター」で確認できます。



【ポイント2】

令和7年度の年末調整をする場合は、[随時処理(令和2年以降)]をクリックした「年末調整計算」 画面の右上の「R7年11月以前の税制で年調計算」のチェックを付与しない状態で、年調処理を行ってください。(チェックがついていたら、チェックを外してください)

令和7年度の税制改正の内容で随時処理を行います。

※12月1日以前の退職者などの処理を行う場合はチェックを付与します。



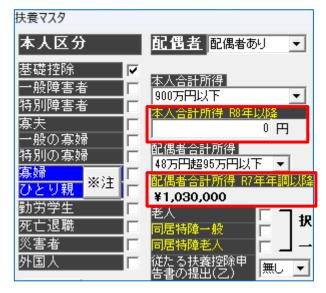
【ポイント3】

[個人マスタ] の [扶養] をクリックした「扶養マスタ」画面に、新たに追加された「本人合計所得R8 年年調以降」は、年末調整には影響しません。

令和8年度からの給与計算の判定に使用します。

令和8年1月の給与計算をする前までに設定を行ってください。

(事前に情報を登録しても、令和7年12月支払いの給与計算には反映しません)



「配偶者合計所得 R7 年年調以降」の登録は、「被扶養者マスタ」画面の「所得見積額」を登録すると、反映します。

以上です。